



# はっとり友則県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 間近に迫った人口減少社会

## 「くらし満足度日本一」実現を

緑のベッドタウン、八千代市選出の服部友則県議（3期）は県政のニューリーダーとして、安全・安心なふるさとづくりに全力を上げています。2月県議会予算委員会では質問に立ち、人口減少社会到来

### 2月県議会予算委員会 八千代市特集

来に備えての県の移住・定住施策、あすの千葉県を支える人材育成のための教育問題、犯罪がない社会実現のための防犯対策などについて県の施策、方針を質しました。質疑の模様を特集します。

### 地域の魅力向上し 移住・定住を促進

服部議員 暮らし満足度日本一と移住・定住施策についてうかがう。  
人口減少社会が現実のものになる中で、移住・定住施策が重要であるが、県内市町村においては、具体的にどのような取組を進めているのか。

総合企画部長 人口減少社会が現実のものになる中で、一人でも多くの方に千葉に移り住んでいただき、また、いつまでも住み続けていただくためには、県は

服部議員 県では市町村の取組に対し、どのような支援を行っているのか。

総合企画部長 県では、「アクアラインの値下げや圏央道の整備等に対応した地域づくり」、「県内での地域間世代交流の促進」、「移住・定住の促進」など、市町村や地域の皆様が行う魅力ある地域づくりに向けた取組みに対して、「ちばの地域力向上タイアップ事業」として助成しているところです。

また、県のホームページに、市町村の取組みや相談窓口、移住経験者の体験談等を掲載するとともに、パンフレットの作成、各種イベントにおけるPRを行うなど、情報発信に努めているところです。



2月県議会予算委員会で暮らし満足度日本一へ向けた県の施策を聞く服部友則県議

もにより、それぞれの市町村が自らの地域の活性化を図り、魅力を高めていくことが極めて重要です。  
そのため、県内市町村においては、地域の特色を活かした産業の育成や、福祉・教育の充実などに取り組みほか、住宅を新たに取得した人に対する奨励金の交付や、移住希望者に対する空き家を有効活用した物件の紹介、また、移住・定住に関する相談窓口の開設など、地域の状況を踏まえた取組を進めているところです。

服部議員 県としては、移住の促進や定住人口の増加を図るために、どのような施策が必要であると考えているのか。

知事 県民の皆様は、「生まれてよかった」「住んでよかった」と思っていただけのために、子育て支援や、医療・福祉の充実、安全・安心のまちづくりなどの施策に、より一層積極的にこれからは取り組んでまいりたいと考えています。

### 知事「誇れる千葉を実現」

いと考えています。  
そして、多くの方々が、千葉の魅力に触れ、移り住んでいただき、いつまでも住み続けていただけるよう、市町村や地域の皆様と連携を図りながら、「くらし満足度日本一」を感じ、誇れる千葉を実現してまいりたいと思っております。

### 水源地 各地で条例化の動き

服部議員 水源地保全条例制定に向けた他の都道府県の取組状況はどうか。

農林水産部長 北海道と埼玉県におきまして、水資源や水源地域の保全のため、市町村と連携した水源地域の指定や、水源地域での土地売買の事前届出制、届出義務違反への勧告・公表などを定めた条例案を、この2月の道・県議会に提出したと聞いております。

服部議員 本県として、この問題についてどのように考え、どう取り組んでいったらよいのか。

副知事 水源地の保全は、非常に重要だと認識しています。国政の場でも、法整備の動きがあると聞いておりますので、その辺も注視しながら、取組について、検討してまいりたいと考えています。

#### PROFILE/服部友則県議

| 経歴      |                |
|---------|----------------|
| 昭和32年5月 | 八千代市生れ         |
| 昭和51年3月 | 県立船橋高校卒        |
| 昭和56年3月 | 山梨大学教育学部卒      |
| 昭和58年1月 | 八千代市議初当選(6回当選) |
|         | 八千代市議会議長       |
| 平成15年4月 | 県議会議員初当選       |
| 平成19年4月 | 県議会議員再選        |
| 平成23年4月 | 県議会議員三選        |

| 現職  |               |
|-----|---------------|
| 県議会 | 環境生活警察常任委員会委員 |
| 千葉県 | 都市計画審議会委員     |

県政や八千代市のご相談、ご意見を聞かせてください

## はっとり友則県議事務所

〒276-0034 八千代市八千代台西 2-4-18  
TEL. 047-485-1400 FAX. 047-485-1443

# 県立学校改革推進プラン

## 社会ニーズに対応し 学科、コースを設置



予算委員会副委員長として、委員会の議事進行にあたる服部友則県議(左)

**服部議員** 県立学校改革推進プラン策定にあたり、新たな学科やコースを設置するに当たっての背景と狙いはなにか。

**教育長** 高校への進学率は98%に達し、様々な生徒が入学するとともに、若者の職業観・勤労観の希薄化などが顕在化しており、高校教育には、多様な進路希望への対応やキャリア教育・職業教育の充実、地域との連携の一層の推進などが求められております。

このため、県立学校改革推進プラン(最終案)では、社会のニーズに対応した学科やコースの設置、普通科から総合学科への転換など、普通科の特色づくりと専門の学びを生かした教育の充実を推進し、これからの千葉県を支える人材の育成を目指すこととしております。

**服部議員** 地域連携アクティブスクールと自己啓発校は、意欲と熱意ある教員を公募により配置し、学校指導重点校との違いは何か。

**教育長** 地域連携アクティブスクールは、独自の入学者選抜を行うことで生徒の意欲を見だし、子どもたちの主体性や能力を伸ばしながら、地元企業や地域の方々と積極的に関わり貢献する取り組みを行い、自立した社会人の育成を目指す学校です。

**服部議員** 県教育委員会では、未来の科学技術系人材を育成するために文部科学省が実施しているスーパーサイエンスハイスクール事業の成果をどのように普及していくのか。

**教育長** 県教育委員会では、スーパーサイエンスハイスクールの研究成果の報告を行う合同発表会に、中学生、高校生、教員、保護者などに広く参加を呼びかけたり、研究成果をまとめた報告書を県教育委員会のホームページに掲載するなど、広く普及に努め、科学的探

**科学技術系人材育成**

**成果を広く発信**

**スーパーサイエンスハイスクール**

**服部議員** 県教育委員会では、未来の科学技術系人材を育成するために文部科学省が実施しているスーパーサイエンスハイスクール事業の成果をどのように普及していくのか。

**教育長** 各指定校は、それぞれの学校において独自の研究に取り組んでおり、船舶高校では科学の面白さとやりがいに関心をもち、研究を、長生高校は国際社会に対応できる英語による理科教育の実践を、柏高校は最先端科学研究機関と連携した科学者の育成をテーマに活動に取り組んでおります。

**服部議員** 各指定校は、それぞれの学校において独自の研究に取り組んでおり、船舶高校では科学の面白さとやりがいに関心をもち、研究を、長生高校は国際社会に対応できる英語による理科教育の実践を、柏高校は最先端科学研究機関と連携した科学者の育成をテーマに活動に取り組んでおります。

**教育長** 各指定校は、それぞれの学校において独自の研究に取り組んでおり、船舶高校では科学の面白さとやりがいに関心をもち、研究を、長生高校は国際社会に対応できる英語による理科教育の実践を、柏高校は最先端科学研究機関と連携した科学者の育成をテーマに活動に取り組んでおります。

**服部議員** 各指定校は、それぞれの学校において独自の研究に取り組んでおり、船舶高校では科学の面白さとやりがいに関心をもち、研究を、長生高校は国際社会に対応できる英語による理科教育の実践を、柏高校は最先端科学研究機関と連携した科学者の育成をテーマに活動に取り組んでおります。

**教育長** 各指定校は、それぞれの学校において独自の研究に取り組んでおり、船舶高校では科学の面白さとやりがいに関心をもち、研究を、長生高校は国際社会に対応できる英語による理科教育の実践を、柏高校は最先端科学研究機関と連携した科学者の育成をテーマに活動に取り組んでおります。

**服部議員** 各指定校は、それぞれの学校において独自の研究に取り組んでおり、船舶高校では科学の面白さとやりがいに関心をもち、研究を、長生高校は国際社会に対応できる英語による理科教育の実践を、柏高校は最先端科学研究機関と連携した科学者の育成をテーマに活動に取り組んでおります。

**教育長** 各指定校は、それぞれの学校において独自の研究に取り組んでおり、船舶高校では科学の面白さとやりがいに関心をもち、研究を、長生高校は国際社会に対応できる英語による理科教育の実践を、柏高校は最先端科学研究機関と連携した科学者の育成をテーマに活動に取り組んでおります。

**要望** 服部議員 最終的に、自己啓発指導重点校の進化形として地域連携アクティブスクールになるものだと思う。当面の間、県教委は両方を推進していただきたい。

## 防犯カメラ設置事業 来年度も補助継続

**服部議員** 防犯問題についてうかがう。防犯カメラの設置促進を図るため、県としてどのような取り組みを進めてきたのか。

**環境生活部長** 県では一昨年、ひたたくりの被害が全国ワースト1位となったことを受けて、ひたたくりなどの犯罪が発生しにくい環境整備を図るため、防犯カメラの設置補助事業を今年度から実施しています。

**服部議員** 防犯カメラの設置は、犯罪の抑止や事件解決の手段として、その効果が高いと認められることから、今後も整備を進めていくことが必要であると考えております。

**知事** 防犯カメラの設置は、犯罪の抑止や事件解決の手段として、その効果が高いと認められることから、今後も整備を進めていくことが必要であると考えております。

**要望** 服部議員 教科試験は大事だが、人物本位で優秀な教員を本県に採用していただきたいと強く要望したい。

**服部議員** 教員の事務負担の軽減は、どのように図られているのか。

**教育長** 県教育委員会では、庁内にプロジェクトチームを設置し、学校を対象とした会議や調査などの整理や統合を行ってきたところです。

**要望** 服部議員 本県の力の向上には、防犯カメラ及び科学捜査と人と人とのつながりが重要だと思われるので、なお一層の充実強化を要望する。

**警察本部長** 科学捜査研究所は、所長以下45人の体制であります。業務内容については、法医、科学、物理、文書、心理等の分野に分かれております。

**科学捜査研究所**

**増えるDNA鑑定**

**服部議員** 犯罪の巧妙化に伴い、科学捜査研究所の充実が必要と考えるが、現状はどうか。

**警察本部長** 科学捜査研究所は、所長以下45人の体制であります。業務内容については、法医、科学、物理、文書、心理等の分野に分かれております。

**服部議員** 犯罪の巧妙化に伴い、科学捜査研究所の充実が必要と考えるが、現状はどうか。

**警察本部長** 科学捜査研究所は、所長以下45人の体制であります。業務内容については、法医、科学、物理、文書、心理等の分野に分かれております。